

「ウチダザリガニ」モニタリング報告

1. 目的

環境省の指定した特定外来生物ウチダザリガニの曾原湖における生息状況、捕獲状況を分析することを目的とする

2. 結果

- (1) 曾原湖での捕獲数は延べ 38 匹であった。(平成 24 年は 3 回の調査で 143 匹捕獲)
- (2) 月別で見ると 6 月 5 匹、7 月 16 匹、8 月 12 匹、10 月 5 匹であった。
- (3) オスとメスの比率は 6 月♂2 匹♀3 匹、7 月♂13 匹♀3 匹、8 月♂7 匹♀5 匹、10 月♂1 匹♀4 匹であった。平成 24 年は 7 月、8 月はメスの割合が高く、10 月はオスの割合が高かったが、平成 25 年は逆に 7 月、8 月でオス比率が高く 10 月でメスの割合が高いという逆の結果になった。
- (4) 地点別で見ると北の A 地点が 2 匹、東の B 地点が 11 匹、南の C 地点が 11 匹、西の D 地点が 14 匹で、一番多くとれたのは西の D 地点であった。この結果は昨年の結果と異なった。(昨年多くとれたのは南の C 地点)
- (5) 今回新たに設置した A' 地点と E 地点については捕獲することができなかった。

3. 考察

- (1) 平成 24 年に比べ捕獲されるウチダザリガニの数が減った。要因として考えられることは、裏磐梯観光協会が開催しているウチダザリガニ釣りの成果により大きく数が減ったことや、気象条件により、活動が鈍くなったことなどが考えられるが、要因を決定するには時間をかけた調査が必要だと思う。
- (2) 平成 24 年、平成 25 年の調査において、卵を体外で抱いている個体を捕獲することはできなかった。
- (3) 平成 24 年は 7 月、8 月はメスの捕獲割合が高く、メスの取れやすい時期を把握できるかと思っただが、平成 25 年は逆の結果となった。要因については不明である。
- (4) 新たに設置したポイントはどちらも捕獲された個体はいなかった。生息していないことも考えられるが、流れがあるために、匂いが流れてしまった可能性もあるので引き続き調査方法なども含めて考えたいと思う。

4. 概要

- (1) 実施期日
 - * 平成 25 年 6 月 6 日
 - * 平成 25 年 7 月 9 日
 - * 平成 25 年 8 月 5 日
 - * 平成 25 年 10 月 28 日
- (2) 調査者
 - * 五十嵐悟・野沢沙樹(NPO法人わかば自然楽校)
 - * 伊藤延廣・真野真理子・立花千秋(裏磐梯エコツーリズム協会)
- (3) 調査項目および結果
 - * ウチダザリガニの体長・頭胸甲・欠損状況の結果を表 1 に示す。また、調査地点を図 1 に、捕獲数のデータを表 2 に示す。

以上